

幼稚園のお友だち、今日はまだ朝のご挨拶ができていなかったなので、元気いっぱい朝のご挨拶をしましょう。(おはようございます)(もっと元気いっぱい、このメセナホール中に響かせるように大きな声でご挨拶ができるかな?大きな声で、おはようございます)

この元気いっぱいな朝のご挨拶こそ、これまで双葉幼稚園が一番大切にしてきたことです。今日は双葉幼稚園が50歳になった記念音楽会です。園歌の歌詞にあるような「にこにこ」「げんきに」そして「なかよく」歌う姿、お友だちと一緒に合奏を楽しむ姿、とても素敵でしたよ。いつもは幼稚園でみんなの誕生日会をしますが、ここからの時間は双葉幼稚園のお誕生日会です。少し長い時間になってしまうかもしれませんが、みんなで一緒にお祝いをしましょう。

さて、ご来賓の皆様、保護者の皆様、ご来場の皆様、本日は公私ともご多忙のところ、本園の記念音楽会・記念式典・記念演奏会に足をお運びいただき、誠にありがとうございます。須坂双葉幼稚園はこのほど創立50周年を迎えました。

本園は昭和42年に開園、昭和46年に学校法人の認可を取得し、私立幼稚園としての歩みを始めました。開園当時から家庭的で子ども一人一人に寄り添った教育を大切にしてきたと伺っております。平成9年には創立30周年を記念し、園歌を作成しました。園歌の作成にあたり、本日ご来場いただいている元長野県短期大学教授の川井明男先生に作曲を手掛けて頂きました。園歌はこれまで卒業していった多くのふたばっ子たちの心に残る温かいメロディーとなりました。また、今を生きるふたばっ子、そしてこれから先のふたばっ子たちの、明るい未来を照らす道しるべであると信じております。

平成29年には豊かな自然を保育に取り入れた信州自然型保育の認定を取得し、地域の豊かな自然環境の中で遊びを通じて育まれる子どもの主体性や自立心、思いやりの心といった非認知能力の育成にもより一層力を入れてきました。

平成 30 年からは園舎の新築を機に地域社会や家庭環境に応じた幼稚園型認定こども園に形態を変え、今日に至っております。

私の祖父である創立者の先々代は、開園当時から「子どもは宝・子どもは遊び」を謳い、「明るく元気にのびのびと遊び、物事に意欲的に取り組む子どもの姿をめざす」を教育目標に掲げました。その思いは先代である母、そして私へと引き継がれた今も変わらず、本園の根幹をなしています。50 年余りが経過した今でも子どもたち自身が持っている生きる力や無限の可能性は、変わりありません。いつの時代においても幼児期は「生きる力の基礎」を育む時代であり、幼児教育の目標は変わることはありませんが、子どもたちを取り巻く環境は、時代の変化と共に大きく様変わりしてきました。本園でもその時々の子どもの姿を見つめながら、教育目標を達成するための在り方、方法と常に向き合ってきました。

今後も、これまで脈々と受け継がれてきた「ふたば」の伝統を引き継ぎながら、時代の変化に対応し、これからの未来を生き抜く子どもたちが夢を持ち、大きく羽ばたいていってくれることを願い、職員一同、一層自己研鑽に努める所存です。

創立 50 周年を節目に、これまで双葉幼稚園を温かく見守り、支えてくださいました皆様に、改めて感謝申し上げますとともに、今後も地域と共に歩み努力し続ける幼稚園であることをお誓い申し上げます、感謝の言葉といたします。

(スライドに注目)

令和 6 年 2 月 9 日 (金)

学校法人双葉学園

認定こども園 須坂双葉幼稚園

理事長・園長 垂澤優樹